

01 Title

令和2年度江戸川区高次脳機能障害者支援事業普及啓発講演会

高次脳機能障害と共に生きる、 あなたと共に生きる

02 Entrance Fee

入場無料
事前予約
(定員 250名)

03 Venue & Date

場所

タワーホール船堀
小ホール(100名)

OR

オンライン参加
(150名)

※会場またはオンライン参加から選べます
※感染症の状況によってはオンライン開催のみとなる可能性があります

日時

2020年12月13日(日)

13:00 ~ 15:30 (12:30 開場)

13:00 基調講演 鈴木大介氏

14:30 トークセッション『この時代を生きる』
柳浩太郎氏 × 柴本礼氏 × GOMA氏 × 鈴木大介氏

04 Keynote Lecture

13:00 - 基調講演 鈴木大介氏

病気や事故等で脳の一部が損傷を受けた時、
思考・記憶・行為・言語・注意などの脳の高度で複雑な機能に
障害(高次脳機能障害)が起こることがあります。
2015年に脳梗塞を発症し、
高次脳機能障害当事者の鈴木氏による講演を行います。



鈴木大介氏

1973年千葉県生まれ。子供や女性、若者の貧困問題をテーマにした取材活動をし『最貧困女子』(幻冬舎)、『ギャングース(漫画原作・映画化)』(講談社)、『老人喰い』(ちくま新書・TBS系列にてドラマ化)などを代表作とするルポライターだったが、2015年(41歳)で脳梗塞を発症して高次脳機能障害当事者に。その後は高次脳機能障害者としての自身取材した闘病記『脳が壊れた』『脳は回復する』(いずれも新潮社)や夫婦での障害受容を描いた『されど愛しきお妻様』(講談社)などを出版。近刊は初の小説表現である『里奈の物語』(文藝春秋)、援助職全般向けの指南書『脳コウ』さん支援ガイド』(医学書院・シリーズケアをひらく)、心理職に向けた対談本『不自由な脳』(金剛出版)など。

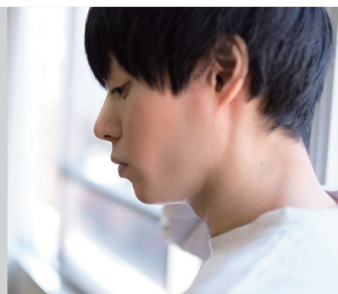
05 Talk Session

14:30 - トークセッション『この時代を生きる』
柳浩太郎氏 × 柴本礼氏 × GOMA氏 × 鈴木大介氏

新型コロナウイルスが私たちの生活にどんな影響をもたらしたか
高次脳機能障害を経験した4名の登壇者と共に、
不安定な時代を生き抜くためのヒントを探ります。

柳浩太郎氏 (リモート出演)

1985年生まれ、俳優。ミュージカル「テニスの王子様」の初代越前リョーマ役として人気を博す。2003年12月、稽古から帰宅途中に交通事故に遭い、高次脳機能障害を抱える。リハビリを経て舞台復帰し、困難と戦いながら舞台・テレビ・映画で活躍。2014年に芸能活動を休止するが2019年より再スタートを切る。著書『障害役者～走れなくても、セリフを忘れても～』(ワニブックス刊)。



柴本礼氏 (リモート出演)

2004年夫が43歳の時、くも膜下出血により高次脳機能障害を負う。夫のリハビリと社会復帰を支えながら2010年『日々コウジ中』(主婦の友社)、翌年その続編を出版。2013年ネットでのやりとりが主の家族会、高次脳機能障害コウジ村を立ち上げるほか、10年書いているブログでも相談を受けている。TKK(東京高次脳機能障害協議会)理事。



GOMA氏 (リモート出演)

オーストラリア先住民族の伝統楽器ディジュリドゥの奏者・画家。ディジュリドゥ奏者としてFUJIROCK FESTIVALなど野外フェスを中心に活動。海外にも活動の幅を拡げ勢いに乗っていた2009年交通事故に遭い高次脳機能障害と診断を受け活動を休止。退院2日後より突然描きはじめた絵が評価され画家として活動を再開。11年再起不能と言われた事故から苦難を乗り越え音楽活動を再開。12年GOMAを主人公とする映画『フラッシュバックメモリーズ3D』が東京国際映画祭にて観客賞を受賞。19年詩人の谷川俊太郎との共著。自身初の画集として『Monad モナド』を出版。



06 Registration

お申込は右記のQRコード
または soteria.jp から



08 Contact

お問合せ：地域活動支援センターはるえ野

Mail info@soteria.jp (担当：長谷川)

Tel 03 - 5664 - 6070

07 Host

主催 江戸川区
特定非営利活動法人東京ソテリア

